

第5回送配電網投資・運用効率化委員会議事要旨

1. 日 時：2025年5月14日（水）13：35～14：55
2. 委 員：一般送配電事業者（10社）の社長、一般社団法人送配電網協議会専務理事・事務局長、外部より招聘した学識経験者（2名）、弁護士、消費者（各1名）
3. 議 題：
 - （1）委員会規程の制定および委員長の選任について
 - （2）送配電事業のサステナブルな事業環境構築に向けた取組みについて
 - （3）一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

4. 議事概要：

（1）委員会規程の制定および委員長の選任について

- ・ご意見なし

（2）送配電事業のサステナブルな事業環境構築に向けた取組みについて

●有識者委員コメント

- ・非常に重要な取組みであり、どのような活動になるのか期待している。
- ・他業界との連携を進めることは重要なことだが、具体的にはどのような形で進めていこうと意図されているのか。

●一般送配電事業者コメント

- ・一送大で議論を始めたところであり、各プレイヤーとの対話も含め、これから具体的アクションを整理し、しっかり取り組んでいきたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・我々是一緒になって取り組める素地があり、そういった関係性を築いてきているので、このような強みをしっかり生かして進めていきたい。
- ・既に中長期取組み検討委員会を立上げ、具体的な検討を開始しているので、この場でもご報告させていただき、ご意見を賜りたい。

●有識者委員コメント

- ・重要な今後のロードマップが示されていると思った。
- ・1ページの社会ニーズのところに、「信頼度維持とコスト効率化の両立」、「カーボンニュートラル」、「デジタル化」の3つのキーワードがあるが、先の2つは目的に近く、デジタル化は目的を成し遂げるための手段に見える。
- ・電力業界の中で高度化をしていく上でも、デジタル化が必要である。インフラは広く他業種と関わるので、デジタル化を考えるときには、より広い視点でどういう波及効果があるのかということを検討いただければ、世の中に対してインパクトの大きい目的が達成できると思う。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・デジタル化は本来手段であるが、社会ニーズとして記載しているのは、世の中がデジタル化に向けて動いている中で、我々としても遅れることがないようにという意味がある。
- ・世の中が大きなデジタル化の流れにあることから、よく世の中の動きを見ながら、大きい視点で検討して参りたい。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・デジタル化については、3つの軸があると気づいたので、そこを分解して表現することで、我々がなすことのゴールがクリアになると思う。
- ・一つ目は、一般送配電事業は、電力ネットワークを利用する他の事業や産業に非常に大きな影響を与えると考えると、一送というシングルユースではなく、ネットワークを利用する事業・産業を意識したマルチユースという観点からデジタルのツールやインストールする内容・仕様を検討していくことが重要である。
- ・二つ目は、デジタルと電気は非常に親和性が高く、社会全体がデジタル化するためのプラットフォーム的な観点を意識しながら、我々の電力供給や電力システム形成・運用を行っていくことが我々として社会のニーズに応えていくことに繋がっていくものだと思っている。
- ・三つ目は、データセンターについて、我々の事業へのインパクトが非常に大きく、効率的にエネルギーを消費する形での運用や、電力システムに対して負担とならない形も考えていかなければならない。

●有識者委員コメント

- ・非常に高度で安定的な電力システムができあがっているが、そういったところが見えないため、将来の発展性を見せて、若い人にもアピールいただきたい。

●有識者委員コメント

- ・これまで出てきた話はもっともであり、ぜひ取組みを進めていただきたい。
- ・他業界との連携も含めて、新しい知恵やノウハウが得られる良い機会になると思うので、電気事業法や他関連法令に基づく既存の仕組みが古くなってきているということがあれば、業界から積極的に制度を改正しより良くするための提言をされた方が良い。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・実務ニーズからこういう仕組みが必要ではないかということが出てくれば、しっかり訴求していきたい。

(3) 一般送配電事業者における設備仕様統一の取組みについて

●有識者委員コメント

- ・設備仕様統一は、非常に大切なものであり、過去から積み上げてきたものと理解。4ページで、まだ架線金具や電線付属品はそれぞれ8~9%の割合を占めているが、これらを後に回しているのは何か理由があるのか。

●一般送配電事業者コメント

- ・電線金具や付属品は、品目として一つにまとめて記載しているが、送電線は電圧毎にサイズの違いがあるなど、モノ自体は多岐に分かれている。既存の規格において一通りの共通化ができているため、コストメリット等の関係性を見ながら、アプロ

一斉の仕方を考えていきたい。

●有識者委員コメント

- ・ 21 ページで年間資材費の 63%まで完了したということだが、効果が大きいものを厳選して優先度を高くして取り組まれているということであれば、効果があるものに対しては、もっと高い比率で終わっているということになる。意味のあるものは、かなりのパーセンテージが終わっていると、スピード感もアピールした方が良い。

●一般送配電事業者コメント

- ・ 検討中の品目を含めると資材費ベースで 87%となるが、資料上には書ききれていないので、取組みの見せ方は考えていきたい。

●有識者委員コメント

- ・ 掘削や電柱に関して、関連業界と連携を取られていると思うし、簡単にそれが全部利用できるとは思わないが、新しいものの開発スピードを上げるためにも、積極的にいろいろな業種の方と連携いただけると良いと思う。

●一般送配電事業者コメント

- ・ 引き続きいろいろな業種の情報を取りながら進めたい。

●有識者委員コメント

- ・ 工法においては、今までなかったドローンなど別分野が出てきた中で、設備以外の AI のようなものも含め、ソフトの統一といったところで、新たな共通化のような取組みにより、コスト削減を目指していくといった考えはあるのか。

●一般送配電事業者コメント

- ・ AI については、前回の委員会でご紹介した、変電設備や送電鉄塔のサビの進展の見極めについて教師データを集め、自動的に分析・評価できないかといったアプローチをしており、引き続き取り組んでいきたい。
- ・ ドローンについて、送電設備の点検に活用するためにはドローン航路の整備が必要であり、各一送や関係事業者等とも連携しながら、効果的に取り組んでいけるようにアプローチをしている。

●有識者委員コメント

- ・ スマートメーターは新規の規格統一の成功例だと思うが、次に来るものは何かあるのか。

●一般送配電事業者コメント

- ・ 前回の委員会で紹介した変電所のデジタル化について、もう一步踏み込めないか、メーカーも含め話をしていきたい。

●有識者委員コメント

- ・ 第 1 回から様々な検証結果を説明いただき、いろいろなところで効率化が図られており、効果が見えてきていることを実感している。
- ・ 今後、仕様統一されたものについて、継続的な視点での検証プロセスがあっても良いと思う。例えば、さらに効率化できるのではないかとか、一方で不都合を生じてしまったところは調整するとか、そういったレビューの機会があれば良いと思う。
- ・ 効率的な対応が前提になるが、追加の検討対象として加えるべきものも含め、定期的な取組みを行う機会が今後あり得るのか。技術革新等で素材も進化していくた

め、中長期的に柔軟な視点で取組みを継続いただくと良いと思っている。

●一般送配電事業者コメント

- ・検討完了という表現をしている品目について、あくまでも現時点での検討完了との認識。
- ・技術革新については今まで以上のスピードでメーカーからも提案が出てくると思うし、環境対応設備へのアプローチも必要になってくる。そういった機会を捉えて不断の対応をしていきたい。
- ・レビューのきっかけのひとつとして、電力用規格や JEC とかいった規格は、定期的に規格の妥当性をレビューする機会があるので、そのような機会に、我々としても今の仕様が最適なのかといったところを確認していかなければいけないと考える。

●一般送配電事業者委員コメント

- ・設備や工事において、コストを継続的に効率化し生産性を上げていく中で、それが反映されたものの一つが料金となる。エスカレーション分を除けば今取り組んでいることの効果は必ずその中に反映されるため、料金制度において原価を検証する際には、今回の取組みと紐づけて説明できる部分がある。
- ・仕様統一については、統一をしていく中で苦労したところや乗り越えてきたハードルを表現していくことができれば、その効果の説明にもなると思う。

以 上